

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和06年02月01日

計画の名称	新庁舎建設に併せた周辺環境の整備を軸とした賑わいのあるまちづくりの推進											
計画の期間	令和06年度 ~ 令和08年度 (3年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	大泉町											
計画の目標	新庁舎建設に併せた周辺環境の整備を軸とした賑わいのあるまちづくりの推進 ・新庁舎前に、様々なイベントが開催でき、多くの人が快適に過ごせる広場を整備し、町民をはじめ、町外からの来町者の交流を促進し、人口の維持を図る。 ・広場周辺に道路や歩道、バリアフリー対応公衆トイレを整備し、広場を安全安心に利用できるような環境整備を行う。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	240	A	240	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R5当初	中間目標値 R7末	最終目標値 R8末
1	人口41,515人(R5)の維持を図る。41,500人(R8) 住民基本台帳ベースの人口により測定する。	41515人	41500人	41500人
2	広場でのイベント開催数を、0回(R5)から6回(R8)に増加させる。 整備する広場等において開催するイベントの回数。	0回	0回	6回
3	大泉町を魅力的な町として伝えたいと思う人の割合を、50%(R5)から58%(R8)に増加させる。 本町が実施する「町民満足度・意識調査」における設問「大泉町を魅力的なまちとして伝えたいと思うか」における「とても思う・やや思う」と回答した割合により測定する。	50%	54%	58%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R06	R07	R08	R09	R10			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	大泉町	直接	大泉町	-	-	大泉町中心拠点地区都市再生整備計画事業	多目的広場整備、歩道新設、広場周辺道路新設、公衆トイレ設置、10.2ha	大泉町						240	-	
												小計						240	
											合計						240		

参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	新庁舎建設に併せた周辺環境の整備を軸とした賑わいのあるまちづくりの推進		
計画の期間	令和6年度 ~ 令和8年度 (3年間)	交付対象	群馬県大泉町



A 10-001  
大泉町中央拠点地区  
都市再生整備計画事業  
面積 : 10.2ha

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 新庁舎建設に併せた周辺環境の整備を軸とした賑わいのあるまちづくりの推進

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事前評価		チェック欄
III.計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
III.計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○